

修了時の評価ポイント及び評価の方法

1. 職務の理解

評価のポイント	評価の方法
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、レポートを提出。

2. 介護における尊厳の保持・自立支援

評価のポイント	評価の方法
<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目標や展開について、尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れて概説できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の定義、身体拘束、及びサービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護についての基本的なポイントを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

3. 介護の基本

評価のポイント	評価の方法
<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職として共通の基本的な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援の場では典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護職におこりやすい健康障がいや受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点等を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

評価のポイント	評価の方法
・生活全体の支援のなかで介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・介護保険制度や障がい者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・高齢障がい者の生活を支えるための基本的な考え方を理解し、代表的な障がい者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

5. 介護におけるコミュニケーション技術

評価のポイント	評価の方法
・共感、受容、傾聴的態度、気づきなど、基本的なコミュニケーション上のポイントについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・ロールプレイにより学習し、講師が評価・確認する。
・家族が抱きやすい心理や葛藤の存在と介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職としてもつべき視点を列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・グループワークにより学習し、講師が評価・確認する。
・言語、視覚、聴覚障がい者とのコミュニケーション上の留意点を列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・記録の機能と重要性に気づき、主要なポイントを列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

6. 老化の理解

評価のポイント	評価の方法
・加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

評価のポイント	評価の方法
・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障がいの違いについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)等の基本的特性、及びそれに影響する要因を列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・認知症の心理・行動ポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方、及び介護の原則について列挙できる。また、同様に、若年性認知症の特徴についても列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・ロールプレイにより学習し、講師が評価・確認する。
・認知症の利用者の健康管理の重要性和留意点、廃用症候群予防について概説できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・認知症の利用者とのコミュニケーション(言語、非言語)の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方(良い関わり方、悪い関わり方)を概説できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・事例を活用し、レポートにより講師が評価・確認する。
・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

8. 障がいの理解

評価のポイント	評価の方法
・障がいの概念とICFについて概説でき、各障がいの内容・特徴及び障がいに応じた社会支援の考え方について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。
・障がいの受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。

評価のポイント	評価の方法
<p>・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則(方法、留意点、その根拠等)について概説でき、生活の中の介護予防、及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携(ボランティアを含む)について、列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>

評価のポイント	評価の方法
<p>・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則(方法、留意点、その根拠等)について概説でき、生活の中の介護予防、及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・家事援助の機能と基本原則について列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。</p>
<p>・体位変換と移動・移乗の意味と関連する用具・機器やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>
<p>・ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携(ボランティアを含む)について、列挙できる。</p>	<p>・全てのカリキュラムを履修後、評価試験を実施する。 ・実技・演習で評価・確認する。</p>

修了時の評価ポイント及び評価の方法 10. 振り返り

評価のポイント	評価の方法
・主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。	・全てのカリキュラムを履修後、レポート提出。